

News Release

2007年5月15日

東京スター銀行

九州地域において、調剤報酬債権・調剤薬品在庫を担保に融資実行 ～中小企業の資金調達手段の多様化に貢献～

株式会社東京スター銀行(東京都港区:代表執行役頭取 CEO タッド・バッジ 以下東京スター銀行)は、アドバンス株式会社(熊本県人吉市:代表取締役社長 中村明博 以下アドバンス)に対して、日本政策投資銀行と協働して、調剤報酬債権及び調剤薬品在庫を担保とした融資を実行いたしました。

不動産の価値に着目した従来型の金融機関の融資・保証が不動産マーケットの影響を受ける可能性があるセクターとして認識されるなか、新たな融資手法として流動性・換価性の高い資産である売上債権及び在庫等の集合動産を担保とした融資・保証の重要性が高まっております。

東京スター銀行ではこの点に着目して、アドバンスの有する調剤報酬債権及び調剤薬品に対して譲渡担保権を日本政策投資銀行と共同で設定して融資を実行いたしました。尚、日本政策投資銀行はその融資の一部について保証を行っております。

東京スター銀行では、「地域密着型推進計画」の取組方針に基づいて、中小企業金融の円滑化への取組みをより強化しております。また、「再チャレンジ支援総合プラン」の中でも「個人保証に過度に依存しない融資」の推進を引き続き期待されている中で、ストラクチャード・ファイナンスを使った金融スキームや、お客さまニーズを取り入れた商品開発を積極的に実施し、中堅中小企業の資金調達手法の多様化を推進しています。

東京スター銀行は、今後も柔軟な発想で、本件のような債権・動産を担保とした融資への取組み等を通じて、中小企業に最適な資金調達手法の開発の強化を図って参ります。

■アドバンス株式会社 (<http://advance-sakura.co.jp/index.html>)

昭和 60 年設立。「地域の人々から高い信頼と深い満足を得て、地域医療に貢献すること」を理念とし、木目細やかな服薬指導と薬剤に関する情報提供により、「さくら調剤薬局」等の名称で熊本県を中心に高い信頼と満足を得ており、現在 19 店舗の保険調剤薬局を運営しています。